

# あなたの高校生活 まさに、ハレルヤ!

## 2025年度新入生歓迎会開催



題字 井口 文章  
再刊 第479号  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2025

みんなでつくる  
錦城高校新聞

一面: 2025年度新入生歓迎会開催!!  
今年度から食堂が値上げ  
二面: 卒業生講演会を取材  
春合宿レポート第1弾!!

### 41の部活動、クラブが新入生をお出迎え

4月9日(水)に行われた新入生歓迎会。入学したばかりの1年生の前で各団体の紹介を行った。会の様子や感想をお届けする。  
(編集部共同取材)

### 響き渡る歓迎の歌声

はじめに、体育学芸委員長の須佐聖さん(3C)が挨拶。高校で中学とは違う部活に入ったという自身の経験をもとに、須佐さんは「新しいことをやってみよう」と考えている人はぜひ、積極的にチャレンジしてほしい」と語った。自分の周りにいる人が自分の過去を知らない人ばかりである点が高校での違いだから、「新しい気持ちで3年間を過ごしてほしいです」とメッセージを送った。



多くの団体が会場を盛り上げた

### 練習の成果を新入生に向け披露

毎年素晴らしい演技を披露する体操部は、今年もクオリティの高い技の数々を披露した。流行の曲『かわいだけじやだめですか?』に合わせた掛け声や可愛らしい振り付けで、会場は大きな盛り上がりを見せた。



高いクオリティの技で会場を魅了

### 新歓を終えて

「どの部活も、先輩の取り組み姿勢がとても輝いて見えました!」と話してくれたのは、渥美有都さん(1A)。剣道が好きで、剣道部の実演が特に印象に残っているという。入る部活は決まっていなくても、うだが、入りたい気持ちが高まりましたと語った。続いて取材に応じてくれたのは、松永悠真さん(1A)、細田聖稀さん(1A)、蟹養葉さん(1A)の3人組。それぞれ、「全部の部活に入りたい気持ちになりました!」映像からパフォーマンスまで、どの部活もすごかったです!「脳に直接実演が焼き付く感じがして、感動しました!」と感想を教

### →錦城の伝統ハレルヤを新入生に届ける



「全部の部活に入りたくりました」

### 錦城生にも物価高の波が 食堂メニュー 大半値上げ

今年度から多くの食堂メニューが値上げとなった。これに対し錦城生はどう思っているのだろうか。3年生のAさんは1年生の頃からずっと食堂を利用しているという。値上げについて、「仕方がないけど値段が上がりすぎだと思っただけ。錦城スベシャルはワンコインなのが良かったから、食べてみてほしい。」(英)

| 食堂新価格一覧  |     | 改定前 | 改定後 |
|----------|-----|-----|-----|
| 錦城ラーメン   |     | 400 | 560 |
| 塩ラーメン    |     | 400 | 430 |
| 熱々担々麺    |     | 430 | 550 |
| 麻婆ラーメン   |     | 430 | 580 |
| みそラーメン   |     | 430 | 510 |
| うどん      | 270 | 320 |     |
| ワカメうどん   | 300 | 330 |     |
| カレーうどん   | 320 | 450 |     |
| コロッケうどん  | 330 | 400 |     |
| うどん替え玉   | 100 | 120 |     |
| そば       | 270 | 320 |     |
| ワカメそば    | 300 | 330 |     |
| カレーそば    | 320 | 450 |     |
| コロッケそば   | 330 | 400 |     |
| そば替え玉    | 100 | 120 |     |
| 油そば      |     | 450 | 580 |
| ラーメン替え玉  |     | 100 | 140 |
| カレーライス   |     | 400 | 430 |
| カツカレー    |     | 470 | 600 |
| キムチチャーハン |     | 400 | 490 |
| 中華チャーハン  |     | 400 | 560 |
| 錦城SP A   |     | 500 | 600 |
| 錦城SP B   |     | 500 | 650 |
| 錦城SP C   |     | 500 | 700 |

価格変更の一覧(食堂提供)  
価格据え置きものから、160円の値上げ  
までメニューによって価格が変わった

### むらさき草

この前の雨が降った日、信号待ちをしている間にふとナメクジを見つけた。聞いた話だが、ナメクジは雌雄同体で性別というものがなく、性別といえど、ここ数年で、トランスジェンダーという言葉が浸透してきている。ジェンダーについて考えるならば、錦城高校でも女子制服にスラックスが導入されている。これは、錦城で男子制服にスカート選択ありとなるか、というところのような話はない。調べてみたが、1400人の教員に制服着用状況を聞いた調査では、中・高校で「指定制服があり、かつ男女限らずスカートを着られる」のは、調査校の3割弱だったそうだ。さらに実際の着用率は1割くらいだという(参考:カンコー学生服、カンコーホームルーム Vol.211「男子生徒のスカート着用状況」2023.08.29)▼近年、DEI(Diversity:ダイバーシティ、Equity:エクイティ、Inclusion:インクルージョン)というキーワードが企業経営などで注目されてきた。多様性や公平性を尊重し、誰もが受け入れられる包括的な組織や社会の実現を目指す考えだ(引用:朝日新聞 Web2023.9.15)。ただ、最近ではトランプ米大統領の政策でも話題になっている通り、様々な議論が交わされている▼スカート・スラックス選択についても、確かに自身で考えてみて、男子スカートを想像つかなかったりする。そもそも男女で制服を分けるという区分けは必要なのか。どう考えるべきか。みんなはどう考えているのか▼結論はすぐにでないが、結論が出ないからと言って考えるのをやめないことが大事だと思う。周りの意見を聞いたり、調べたりすることで、自分の意見を考え続けていきたい。

### 体育部

活動場所: 241  
活動日: 火、水、金  
活動時間: 17:00~18:00  
7階  
活動日: 月、木、土

### 将棋部

活動場所: 241  
活動日: 火、水、金  
活動時間: 17:00~18:00  
7階  
活動日: 月、木、土

### 鉄道研究部

活動場所: 241  
活動日: 火、水、金  
活動時間: 17:00~18:00  
7階  
活動日: 月、木、土

### 生物部

活動場所: 241  
活動日: 火、水、金  
活動時間: 17:00~18:00  
7階  
活動日: 月、木、土

### 宿泊研修の取材をしてみませんか?

4月16日(水)から18日(金)までの3日間で行われる宿泊研修の取材をお手伝いしてくれる1年生を募集しています。文章を書くのが得意でなくても、カメラを使ったことがなくてもどんな人でも大丈夫!先輩がやさしく教えてくれます!興味がある人は、14日、15日の放課後に7階生徒会室まで来てください!

### 鉄道研究部

活動時間: 場所  
放課後~17:00 7階  
活動日: 月、木、土

### 生物部

活動時間: 場所  
放課後~17:00 7階  
活動日: 月、木、土

# 卒業生が語る「進路選択」

## 講演会「大学院とビジネスのリアル」実施

### 学び続ける卒業生の姿

昨年度末、卒業生講演会が行われた。卒業生2人が自身の高校生活や現在の仕事、社会人で大学院に通うことなどを話した。先輩方の話は、進路の選択や高校生活について考えるきっかけとなった。

#### 社会人で大学院に通う理由

3月1日(土)放課後、卒業生講演会「大学院とビジネスのリアル」が開催された。社会人学生として中央大学大学院戦略経営研究科在学中の35回生佐藤恵也さん、同じく仕事を続けながら同研究科を卒業された38回生宮脇明子さんによる大学院や進路選択の講演、ミニ交流会が行われた。

現在セブン・イレブン・ジャパンに勤務している佐藤さんは、仕事で経験不足を感じたことをきっかけに大学院でさらに学びようと考えた。今はJBCCと呼ばれる学生ビジネスコンテストの運営にも関わっている。大学院の仕組みや、学びの意義を説明してく



生徒の相談に親身になって答えてくれた

目的から逆算して手段を選ぶ

宮脇さんは「EBSやインスタで成功した人の話はよく出てくると思うんですけど、失敗の話もしたいと思います」と進路選択について話をしてくださった。大学では、バイトやサークル活動に没頭した宮脇さん。好き・得意を基準に進路を考えていたが「進学先や就職先はあくまで手段であって、5年後、10年後に自

### 近隣四校で地域清掃

#### 中央委員が地域事業に参加

錦城の中央委員会は小平市役所が主催している高校生事業委員会通称『KOKOプロ』に参加している。『KOKOプロ』の企画として3月26日(日)に地域清掃が行われた。本企画は中央委員会が企画したもので、錦城の呼びかけに他近隣の白梅学園、白梅清修中高一貫部、小平高校の各生徒会及び、『KOKOプロ』に所属している方々が参加した。地域清掃を行いつつ、親睦を深めることを目的として行

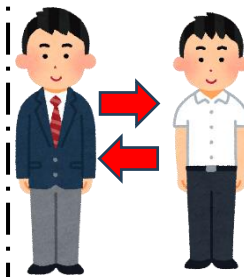


親交を深めながら多くのゴミを集めた

われ、鷹の台駅から小平中央公民館と萩山駅から小平中央公民館の2ルートに分かれて実施された。地域清掃を企画したという中央委員会の佐々木晶大さん(3日)は、おおむね企画した時間通りに進められたことは良かったと振り返る。その一方で、掃除に熱心になるあまりにルート間での意思疎通がうまく図れなかったそうで、佐々木さんはもっと連絡手段を考えたほうが良かったと反

省を口にした。佐々木さんによると終了後には錦城と共に参加した小平高校、白梅学園、白梅清修中高一貫部と地域清掃の感想や日々の生徒会活動について意見交換が行われたそう。大勢での地域清掃ということで、高校同士の関わりを深められてよかったという意見や、私道より公園の方がゴミが落ちておらず、日々公園整備をしてくださっている方々のことを実感できたという新たな気づきを得ることもあったようだ。今年度も引き続き、中央委員会の活動に注目していきたい。(蘭)

4/19～制服移行期間



4月19日(土)～6月14日(土)は、制服移行期間です。

3月24日(月)から27日(木)、ワンダーフォーゲル部は長野県北部の白馬五竜・47スキー場にて春合宿を行った。3日間とも天候に恵まれ、汗をかくくらい暖かさとし重たい雪を感じながら、春らしいスキーを楽しむことができた。2日目の午前中、強風でのリフト停止による待機時間も、雪合戦や大きな雪だる



雪山を背景に記念写真！



### 部活動春合宿レポート第一弾

#### ワンゲル・男子バスケットボール編

ま・かまくら作りなど、普段はない非日常を味わい、チーム力アップの姿が見られた。61回生にとっては最後の合宿となったが、偶然居合わせた卒業生に蔵王での練習の成果を見せながら一緒に滑ったり、夜には宿の部屋でカードゲームで日付が変わるまで盛り上がったりと、スキーでもそれ以外の面でも各々が充実した時間を過ごすことができたようだった。



各々息の合った走りでの激戦を繰り広げ

3月29(土)31日の間、福岡で行われた「フレンズドリーキヤン2025」に参加した。この遠征合宿は、昔から縁がある福岡第一高校が受け入れてくれたことで実現したという。各県から集まったベスト4レ

#### 強豪校との特別練習

男子バスケットボール部は3月29(土)31日の間、福岡で行われた「フレンズドリーキヤン2025」に参加した。この遠征合宿は、昔から縁がある福岡第一高校が受け入れてくれたことで実現したという。各県から集まったベスト4レ



各々息の合った走りでの激戦を繰り広げ

### 大会報告

ソフトテニス部  
▽4月6日(日)  
多摩地区団体選手権  
3位入賞  
吹奏楽部  
▽4月3日(木)  
第23回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール高等学校の部  
最優秀賞受賞

### 写真部 高瀬さんの写真が雑誌に掲載



掲載された雑誌の表紙

全国の高校の放送部・委員会を中心としたネットワークである「YOUTH TIME JAPAN Project」が発行するフリーペーパー「YOUTH TIME JAPAN」(以下YT誌)。2025年2月号の表紙を、写真部の高瀬さん(3H)の撮影した写真が飾った。高瀬さんによると、写真部が運営している公式インスタグラムをYT誌の方が見て声がかかり、部内で写真を集めて選んでもらったそう。高瀬さんは「とてもいいものばかりだったので、まさか自分の作品が選ばれると

### 卒業生からの学びを活かして自身の進路へ 進学懇談会開催



使った参考書なども紹介してくれた

3月19日(水)に1、2年生向けの進学懇談会が行われた。この会は、卒業したばかりの60回生から最新の大学受験や進路選択について話を聞くことができるというもの。今回は34人の先輩たちが、各教室で後輩たちのために様々なことを話してくれた。各教室ではスライドなどを使いながら、大学入試の基本情報や進路の選び方といった基本的な内容から具体的な勉強方法、入試日程の組み方に入試当日にやっておくべきことまで、幅広く様々なことを話してくれた。

256教室では、理系選択者の話を聞くことができた。お話をしてくれたのは、古賀大敬さん(旧3G)、秋葉真帆さん(旧3G)、松隈誠治さん(旧3G)だ。3人とも、なんと塾には通わず志望校に合格したそう。学校のプリントや問題集を繰り返し解くことで力をつけていったという。「理系科目は、横のつながりが多いです」と古賀さん。古賀さんは、数学や物理でつながりを考えて勉強していたと話す。また、「模試は必ず復習して、わからないところは重点的に勉強しました」と語る秋葉さんは、休日もリズムを崩さず学習することを意識していたようだ。さらに松隈さんは、「優先順位を決め、その日にあった授業の復習をしていました」と、部活と勉強の両立法を教えてくれた。3人とも、「とりあえず机に向かってみる」「友達と情報交換する」など、日常の小さな工夫を重ねていた。松隈さんは「あとは自分の力を出し切るだけ」と落ち着ければ、他の受験生と差をつけられます」と語り、「それぞれに合った方法を見つけ、本番で実力を発揮できるようにしてほしいと思います」と錦城生にエールを送った。

※※※  
講義の後は質疑応答の時間も設けられ、多くの生徒が積極的に質問していた。受験のリアルを身近な先輩から聞くことができ、参加した1、2年生にとっては貴重な機会になったようだった。(瑞・普)